

# EGOTERIC

P.1 / D.1



5700103200

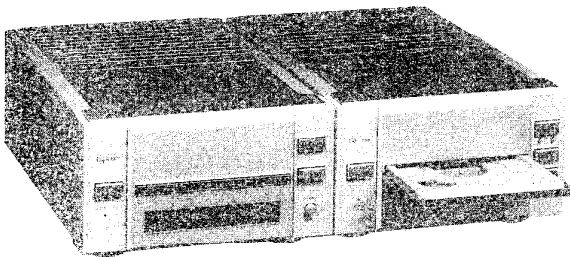
**TEAC®**

## 目次

特長	5~8
ニ使用前に	
●設置/使用上のご注意	9
●コンパクトディスクの取り扱い	10
接続	
●P-1とD-1の接続	11
●ステレオ・アンプとの接続	12~13
各部の名称と説明	
●P-1 CDドライブ・ユニット	14~15
●D-1マルチD/Aコンバーター	16~17
●リモート・コントロール・ユニット	18~19
演奏	
●基本動作	20
●ディスクテーブルを開いたままでも	21
●ダイレクト選曲	21
●演奏の中止	21
プログラム演奏	
●プログラムのセット	22
●プログラム内容のチェック	22
●プログラムの修正	23
●デリート・プログラム演奏	23
リピート演奏	
●1曲リピート演奏	24
●オール・リピート演奏	24
●ブロック・リピート演奏	25
●プログラム・リピート演奏	25
便利な機構とその使い方	
●タイム・サーチ	26
●インデックス・サーチ	26
●シングル演奏 ●ミューティング	27
●早送り/早戻し	27
●トック・サーチ	28
●タイム・カウンター ●オート・スペース	29
タイマー演奏	30
リモコンについて	
●電池について ●使用上のご注意	31
ブロック・ダイアグラム	32~33
解説	34
アフターサービスについて	35
仕様	36
寸法図	37

このたびは、エソテリック製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ティアック技術の集大成により完成された「エソテリック」製品は、今日までの量産方式から離れ、個々の部品選択から製造工程、出荷にいたるまで数多くの厳しい品質管理を一台一台受け製造する受注生産方式で製造されております。最良のコンディションでご使用いただけますように、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくご使用になり末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。



## 特長

**■P-1独自の高品位メカニズム。ディスクのソリを矯正する大径圧着式テーパード・ターンテーブル採用のV.R.D.S.(Vibration-Free Rigid Disc-Clamping System)機構。**

きわめて安定したスタビライザー効果をもたらす、新開発の大径圧着式テーパード・ターンテーブル採用のV.R.D.S.機構。ディスク径と同径のターンテーブルと高精度に調整されたクランプでディスク全体を圧着。ソリや歪みを矯正し、常にピックアップの光軸の中心で、微細なピットを正確に読みとると同時に、ディスクの不要な振動を極少にすることを可能にした全く新しいディスク・クランピング・システムです。

**■超安定度を誇る、新開発フローティング・サスペンション。(P-1)**

CDプレーヤーのいわば心臓ともいえる光学系メカニズム。このP-1の最も大切な駆動部を、内部共振や外部振動、音圧の影響から守り、精度の高い安定した信号の読みとりを可能にする、新開発フローティング・サスペンション。

**■卓越したディスク追従性の高精度3ビーム方式リニアトラッキング・ピックアップ。(P-1)**  
軽量化と高剛性を両立させた新開発の3ビーム方式リニアトラッキング・ピックアップ・システム。際立つディスク追従性を誇り、大型圧着ターンテーブルによる制振設計の高剛性ディスク保持機構と相まって、高精度のピックアップ・アビリティをもたらします。

**■音質重視の大容量電源部。新開発オーディオ用100VAトランスを搭載。(D-1)**

高純度な音質を保証。自己インダクタンスを軽減し、フラットな高域と豊かな低域を生み出す新開発トランス。必要量を大幅に上まわる100VAの大容量で、高品位の電源供給をもたらします。さらに、極性表示された極太タイプ電源コードにより、デジタル系、アナログ系それぞれの伝送性能を大幅に高め、ニゴりのないストレートな伝送を可能にしています。

**■磨贅を尽したメカニズム。トレイのIN/OUTスピードを調節できるD.V.S.C.(Disc Tray Variable Speed Control)機構。(P-1)**

高精度パルス検出サーボモーターにより、トレイのスピードをIN/OUT時別々に自由に変えることのできるD.V.S.C機構。スピードコントロールは、ディスクトレイと同様にネクステル仕上げの、サイドパネルにあるボリュームにより行ないます。

**■アルミ削り出しフロントパネルは最厚部18mm。**

**■重量級インシュレーターと相まって、徹底した制振設計の高剛性2重シャーシ。(P-1)**  
CDプレーヤーとしては他に類を見ない、高剛性、重量級の2重シャーシを採用。最厚部18mmアルミ削り出しフロントパネルと肉厚シャーシとを強固に合体させることで、強靱でしかも優れた振動減衰特性を備えた、理想のコンストラクションを形成。しかも、CDドライブユニットとD/Aコンバータを分離し、きわめて剛性の高いリジッド構造の高密度実装セパレートタイプとすることで、音圧の影響を受けず、外部振動や機械的振動にきわめて強い筐体を実現。さらに特殊合金でつくられた、重量級のインシュレーターは、音質を損う有害な振動・共振を効果的に分散・排除しています。

■ハイプレステージ・モデルにふさわしいアピ  
アランス。金メッキのトレイトップとネクス  
テル仕上げのアルミ削り出し薄型ディスク  
トレイ(P-1)

ボディ全体の強度を高め、音圧の影響を防止し、  
振動、共振にきわめて強い制振設計の筐体を実現  
するためトレイの開口部を狭め、またスイッチ類  
を必要最少限度にとどめることで、フロントパネ  
ルの開口面積を極力減少させています。また、ス  
リムでしかも高剛性の薄型アルミ削り出しディス  
ク・トレイをネクステル仕上げとすることで、大  
切なディスクを保護し、金メッキのトレイトップ  
と相まって、高級機にふさわしい質感を醸し出  
しています。

■音のち密さと透明感。傑出した伝送特性を誇  
るバン・デン・ハル(van den Hul)社製モノク  
リスタル・シルバーコーティング線を採用。  
(P-1/D-1)

伝送系線材には、ヨーロッパの高級オーディオ機  
器に採用され、すでに高い評価を得ているバン・  
デン・ハル社製のモノクリスタル・シルバーコー  
ティング線を使用。パルスやデジタル信号の伝送  
にきわめて優れた特性を持ち、しかも帯域バラン  
スの良いスケール感あふれる音楽再生をもたら  
します。

■デジタル・ディスプレイを好みの明るさに無  
段階調整できる、輝度調整機構付。(P-1/D-1)

視認性の良い大型デジタル・ディスプレイを好  
みの明るさに、無段階に調整できる輝度調整機  
構。ネクステル仕上げの、サイドパネルのボリュ  
ームでマニュアル操作。リモコンではON/OFF操  
作が可能です。

■P-1、D-1の各ファンクションを同時にコント  
ロールできる、操作性に優れたインテリジェ  
ント・デスクトップ・ワイヤレス・リモートコン  
トロール。

P-1、D-1の各ファンクションキーはもちろん、ミ  
ューテイング、アブソリュート・フェイズ(絶対位  
相)、モータードライブ・ボリュームなどを、この  
1台でワンタッチ操作。

●別売コントロールユニット(発売予定)を接続。  
P-1を増設することで連続切換演奏が可能。  
オペラなどの長時間ソースに威力を発揮しま  
す。(P-1)

●別売ジョグダイヤル付コントロールユニット  
(発売予定)により、フレーム単位の高精度な  
頭出し、編集、プログラミングが可能です。  
(P-1)

■驚異的な音の分解能とリニアリティーを獲得。  
フルタイム18bit4倍オーバーサンプリング・  
デジタルフィルター搭載。(D-1)

きわめて高精度にピックアップされたデジタル信  
号を、高品位に再生するため、D-1では新開発フ  
ルタイム18bit D/Aコンバーターを搭載。18bit 4倍  
オーバーサンプリング・デジタル・フィルターに  
より、きわめて正確にデジタル演算された予測値  
を、原信号間に4倍の高密度で補間。18bit D/Aコ  
ンバーターで高解像度変換することにより、18bitの  
高精度階調(16bitの4倍精度)での、アナログ変換が  
可能になりました。その結果、今までCD再生で  
は難しいとされていた、音楽の微妙なニュアンス  
や音像のディテールまでも、きわめてふくよか  
に、あふれる臨場感で再生可能となりました。

■D/A変換時の高調波歪率を徹底して低減。卓越したデジタル精度を誇るZDサーキット。

(D-1)

デジタル信号のD/A変換時には、D/Aコンバータの非直線性に起因する歪みが発生し、特に-60dB以下の微小レベルや、信号がゆるやかに変化する場合は、増大する傾向があります。この歪みは、大小信号が混在する場合にも現れ、音楽の微妙なニュアンスを表現する上で悪影響を及ぼしていました。D-1では、このD/A変換時のいわば宿命ともいわれてきた歪みを低減するため、理想ともいえるディザ信号方式を、独自のZDサーキットとして見事に解決しました。このZDサーキットは、ディザ信号の加・減算を行なうことで、D/Aコンバータの変換誤差を激減。D/A変換精度を極限にまで高める高品位回路です。また、D-1のZDサーキット後段には、新開発の自動減算回路を採用。さらに高精度なD/A変換を実現し、ひずみ感のない、透明で豊かな音楽性を生み出しています。

■0Hzからの完全DC化。ZDサーキットが可能にした、全段直結リニアフェイズ。(D-1)

ZDサーキットは、D/A変換後のディザ信号減算と同時に、D/Aコンバータのオフセット電圧までキャンセルするため、後段アンプの若干のオフセット電圧の補正のみで、0Hzからの完全DC化が可能です。そのため、周波数特性0Hz~20kHzの超広帯域再現が可能となるとともに、D/A変換後の伝送系にカップリングコンデンサーやDCサーボ回路を必要とせず、歪みの増加や位相差の発生がなく、音質面で色づけないピュアで高忠実な伝送系を実現しました。

■ダブルPLL クリーンクロック回路により、クロックジッターのないピュアなクロックを抽出。時間軸方向でも、揺れのない正確な再生を実現します。(D-1)

CD、DAT、BS放送などのデジタル入力は、32kHz、44.1kHz、48kHzというさまざまなサンプリング周波数をもっています。これらのサンプリング周波数に正確に対応するため、D-1では2系統のPLL(デジタル信号復調用クロック抽出PLL、D/A変換制御用PLLのVCOには、ECL(Emitter-Coupled-Logic)を用いたLC発振VCOを採用。広いロックレンジとキャリア純度の高い発振を可能にし、透明度の高い再生音を獲得しています。

■内部干渉や外部振動を完全排除。高剛性・重量級の低重心2BOX 2重シャーシと制振効果の優れた重量級インシュレーター採用。(D-1)

振動や共振による音質劣化を防ぐ、超弩級の対策。デジタル部、アナログ部をそれぞれ1ボックスに収納。電氣的、構造的に完全に分離させ、高剛性のインナーシャーシに独立レイアウト。干渉、共振を徹底的に防止しています。さらに、P-1同様、最厚部18mmのアルミ削り出しフロントパネルとインナーシャーシとをリジットに組み合わせることで、固有振動を効果的に分散・減衰。また、スピーカーからの音圧影響も極少にした、高剛性、重量級のハイリジット・チェーンの筐体としています。さらに、制振効果のきわめて高い特殊合金製の重量級インシュレーターを装着しています。

完全性の徹底追求。D-1をリファレンスたらしめるマニアライクなA.P.C.S.(Absolute Phase Convert System)機構。(D-1)

ステレオ信号の絶対位相の切換えをデジタル処理できるA.P.C.S.機構。しかも、モノ出力はL+Rのデジタル加算することで、きわめて正確なモノラル信号とし、位相差の全くないピュアで高忠実な信号再生を可能にしました。オーディオソースの音楽的可能性を極限にまでつきつめようとするオーディオ・ファイルのためのデジタル機能です。

ミュート時の不自然な音切れやノイズを排除。リファレンス・モデルならではのN.D.M.S.(Noise-Less Digital Muting System)機構。(D-1)

マニュアル・ミュートの動作時に発生する「ブツッ」、「ブツ」というような不快なノイズ。これは音楽信号が急激に途切れるためにおこる波形の乱れです。N.D.M.S.機構はこの途切れた波形をデジタル回路により、なめらかに減衰してゆく波形を生み出し、不快なノイズを排除。スムーズで静粛な操作を実現し、音楽を心ゆくまで堪能することができます。

歪率を大幅に低減する、3極管の特性に最も近いMOS・FET採用。(D-1)

D-1のアナログ系回路には、一般のトランジスタと比較して、耳につきやすい奇数次の高調波歪がきわめて少ない、高音質のMOS・FETを厳選して使用しています。豊かで、奥行きのある音質を創造。3極管の特性に最も近い高品位素子です。

デジタル出力付のあらゆる機器のD/A変換性能を、18bit D/A 4倍O.S.+ZDサーキットの純度へと高めるマルチ入力機能。(D-1)

あらゆるデジタル出力端子をもった機器。たとえばCDプレーヤー、DAT、BSチューナーなど、異なるサンプリング周波数をもった機器と接続することで、《フルタイム18bit D/Aコンバータ+4倍オーバーサンプリング・デジタル・フィルター+ZDサーキット》を通した、高品位なアナログ出力への変換が可能。音質を徹底的に磨きあげる高純度変換機能です。

リモコンオペレーション可能な、高音質設計。電動アウトプット・ボリューム。(D-1)

4つのデジタル入力切換えと、アウトプットボリュームは、リモートコントロールでオペレート可能。特に電動アウトプットボリュームは、エソテリックシリーズのクオリティーにふさわしい、選りすぐられたパーツを使用。D-1のデジタルコントロール機能を強力にサポートします。

## ご使用の前に

### ■設置／使用上のご注意

#### 設置場所について

次のような場所で長時間ご使用になりますと、音質が悪化したり故障などの原因となります。ご注意ください。

- 窓際など直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度40℃以上)、または温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)、では製品の正常な機能を維持できない場合がありますので避けてください。
- 湿度の多い場所(湿度90%以上)では金属部品にサビを生じたり故障の原因となります。
- ホコリの多い場所ではスイッチなどの接触不良や雑音等の発生原因になり性能をそこなうことがあります。
- 結露が発生した場合、一時的に正常動作をしないことがあります。
- その他、トランスやモーターの近くの設置は誘導ハムをひろう原因となりますので、離して設置してください。また、振動の多い場所も避けてください。
- 必ず水平な場所に置いてご使用ください。

#### セットのお手入れには

セットをベンジン、シンナー系の液体で拭いたり、化学ぞうきんを使ったり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布することは避けてください。

お手入れは、必ず柔らかい布でからぶきするようにしてください。

ディスクトレイやインプット切換えスイッチは金メッキ処理がされていますので特にご注意ください。

#### 取り扱いはいねいに

スイッチやツマミ、キャビネットなどに無理な力を加えることは避けてください。

#### 電源電圧はAC100V

定格電圧100Vでご使用ください。また、電源コードは大切にお使いください。特に、コンセントからはずすときは、必ずプラグを持って抜いてください。

※本機は、国内電源AC100V、50/60Hzの範囲でお使いください。この電圧以外でのご使用は保証できかねます。

#### 落雷に対する注意

落雷のおそれのあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。

#### ディスク

ヒビが入ったディスクは絶対に使用しないでください。また、ディスクレコード面にはほこりや指紋を付けないように取り扱ってください。

#### 光ヘッド(半導体レーザー)

光ヘッドは、プレーヤーの性能を決める重要な部分のひとつです。触れないようにしてください。光ヘッドの表面をきれいに保つために、プレーヤーをご使用にならないときは、ディスクテーブルをしめておいてください。

#### 水に濡れたら

万一雨が降ったり、花びんなどの水をセットにこぼしたときは、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。この状態で電源を入れた場合、感電の恐れもあり危険です。また故障の原因となりますのでご注意ください。

#### ケースを開けない

トップカバーや底板を開けて内部に手などを入れますと、故障や感電事故を起こすことがあります。何か異物が入ったときには、すぐ電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

#### セットの移動

セットを移動する場合は、接続コードのショートや断線を防ぐため必ず電源プラグを抜き、他の機器との接続コードをはずしてから動かしてください。

#### スタビライザーは使用しない

市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。


## 結露現象について

冬期などに本機(またはコンパクトディスク)を戸外から暖房中の室内に持込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、動作部やレンズに露がつきます。

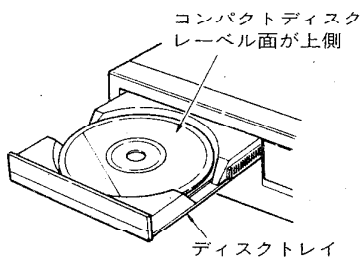
露がついたままではレーザー光による信号の読取り演奏ができません。

結露の程度にもよりますが、電源を入れて1~2時間そのまま放置し、本機を室温に保てば露が消え、演奏できるようになります。

## コンパクトディスクの取り扱い

本機は、コンパクトディスク(CD方式)専用のプレーヤーです。マークのあるコンパクトディスクをお使いください。

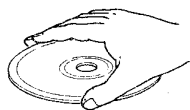
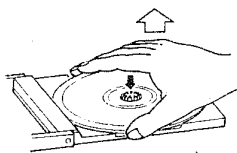
●ディスクのセットは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトディスクの演奏は片面だけです。)



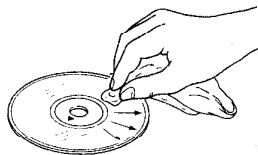
●ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持って取り出してください。

取り出し方

コンパクトディスクの正しい持ち方



●信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。



コンパクトディスクには、レコード盤のような音溝はありません。ほこりやよごれがついたら柔らかい布で軽く拭き取るだけで十分です。多少のほこりやよごれは、音質には全く影響ありません。

●レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。

コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

●演奏が終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。コンパクトディスクのひどい変形や、ひどいキズは音とびの原因となります。

●直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所へ長時間置かないでください。

コンパクトディスクを高温な場所に長時間放置すると変形などの原因となります。

●レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。



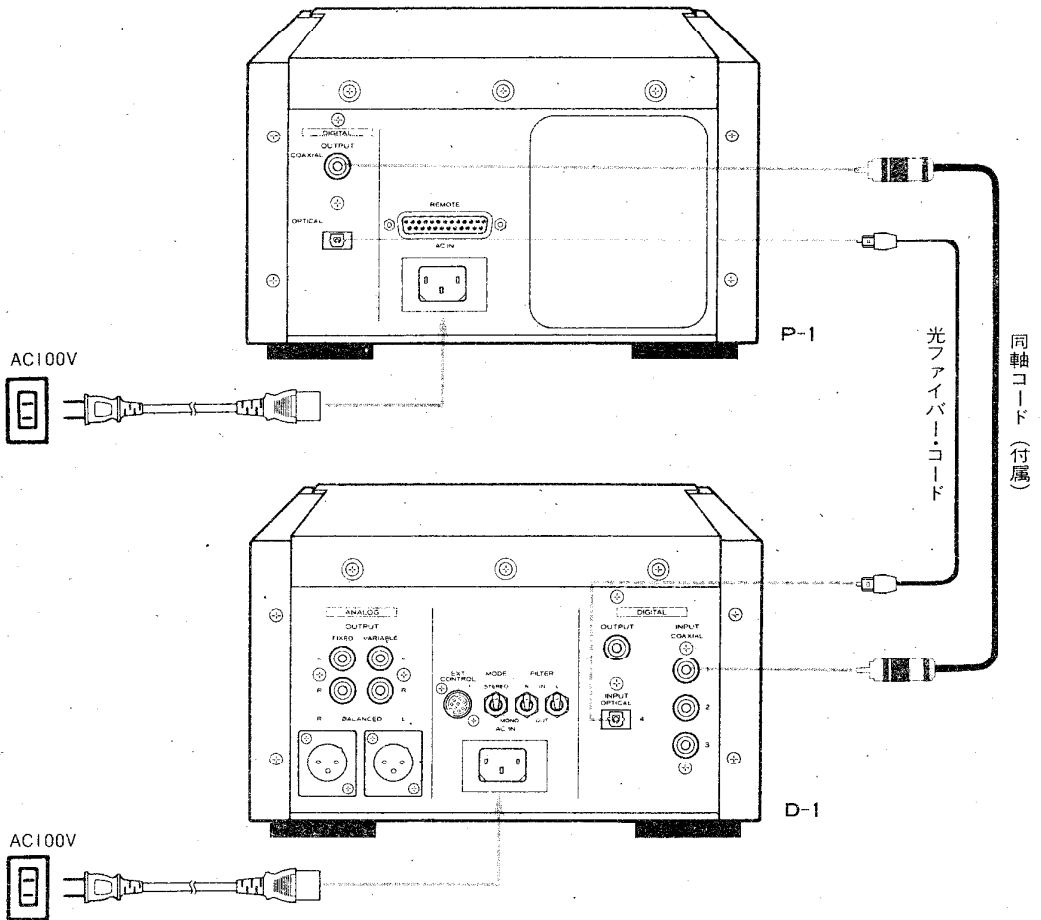
# 接続

## ■P-1とD-1の接続

- 取扱説明書をよくお読みの上、必ずCDドライブユニット (P-1) / マルチD/Aコンバーター (D-1) の電源を切ってから接続してください。
- 同軸コード (P-1 に付属) を、P-1 の [DIGITAL OUTPUT] と D-1 の [DIGITAL INPUT 1~3] のいずれかに接続して下さい。また、光ファイバー・コードを使用する場合は P-1 の「OPTICAL」 と D-1 の「OPTICAL」を接続して下さい。

### 電源の接続

- 必ずAC(交流)100Vの電源コンセントに接続して下さい。



※光ファイバー・コードを使用する場合は、コード先端および接続端子のキャップをはずして下さい。なお、使用しない場合は、双方の“キャップ”を取り付けておいてください。

※P-1の[REMOTE] / D-1の[EXT CONTROL] は、ジョグダイヤル付コントロールユニット(別売)などのシステムアップ用の端子です。

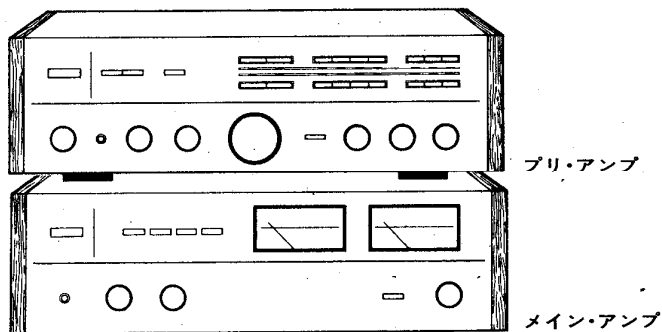
## ■ステレオ・アンプとの接続

### デジタル信号を使用する場合

- 接続するステレオ・アンプの取扱説明書をよくお読みの上、必ずステレオ・アンプおよび本機の電源を切ってから接続してください。
- D-1の〔DIGITAL OUTPUT〕端子と、デジタル入力端子を持っているアンプの〔DIGITAL INPUT〕を接続します。(同軸コードを使用)

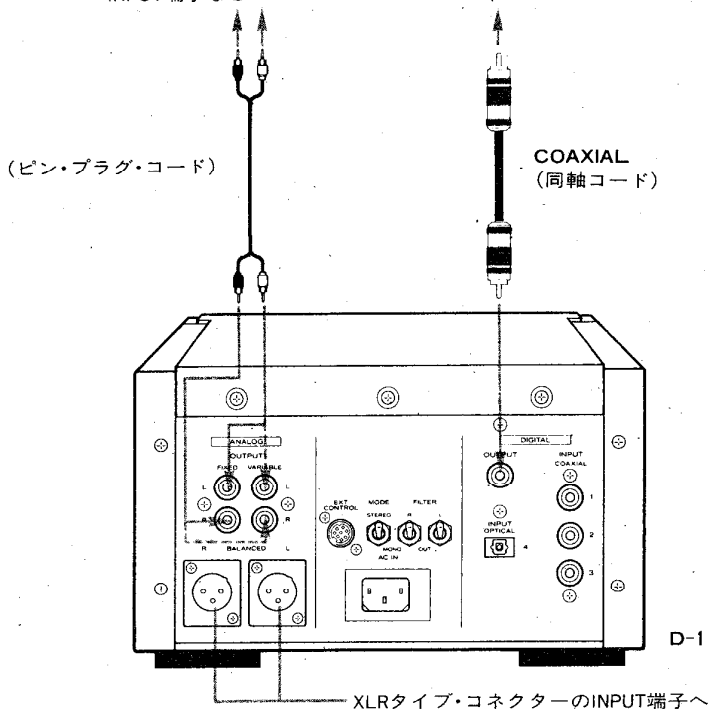
### アナログ信号を使用する場合

- ピン・プラグ・コードは、〔L〕(左チャンネル)を白、〔R〕(右チャンネル)を赤と決めて接続すると、チャンネルをまちがえる心配がありません。



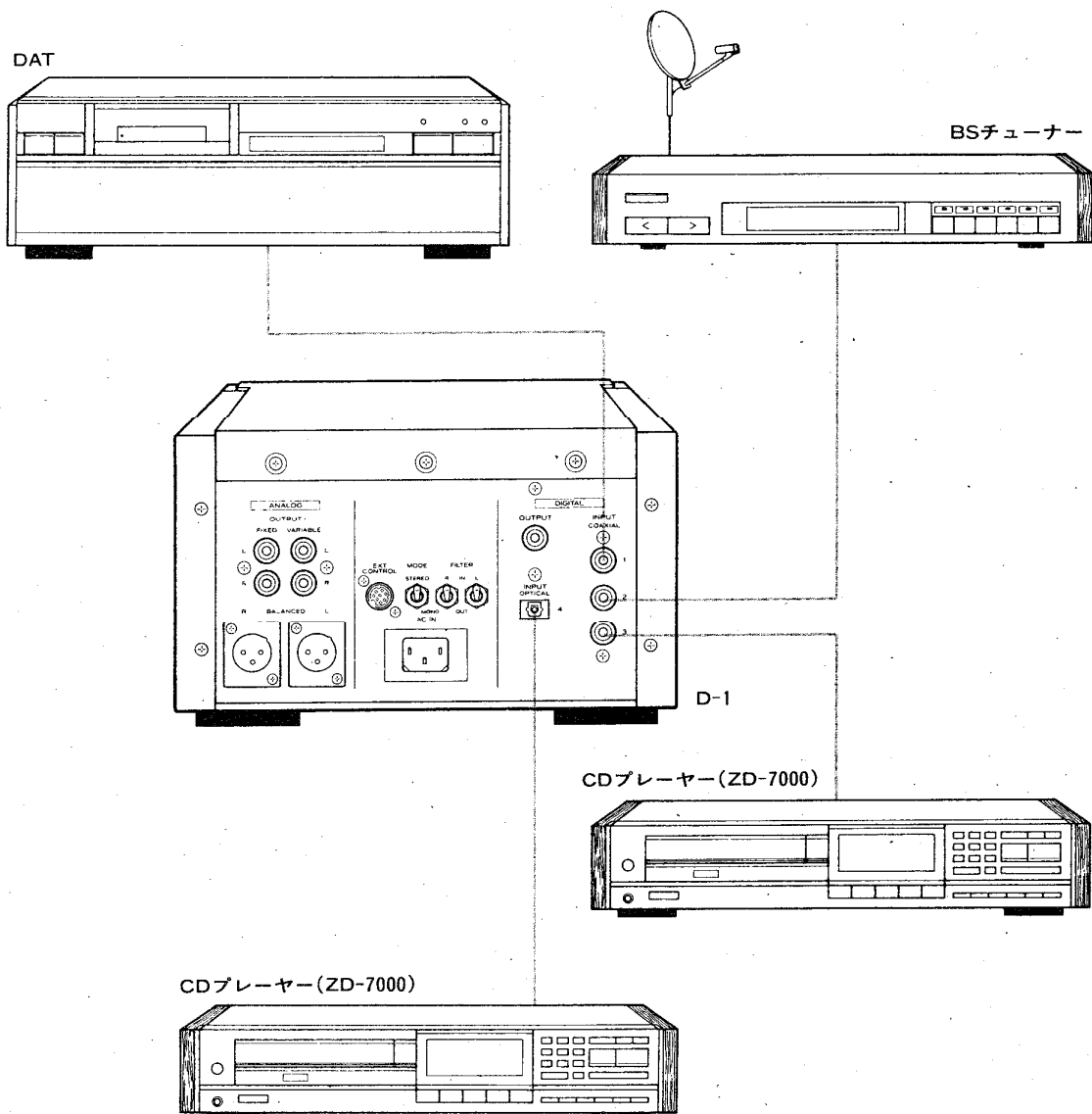
プリ・アンプのCD・AUX端子  
またはメイン・アンプの  
INPUT端子などへ

プリ・アンプの  
DIGITAL INPUT端子などへ



## 図D-1とデジタル出力を持つ機器との接続

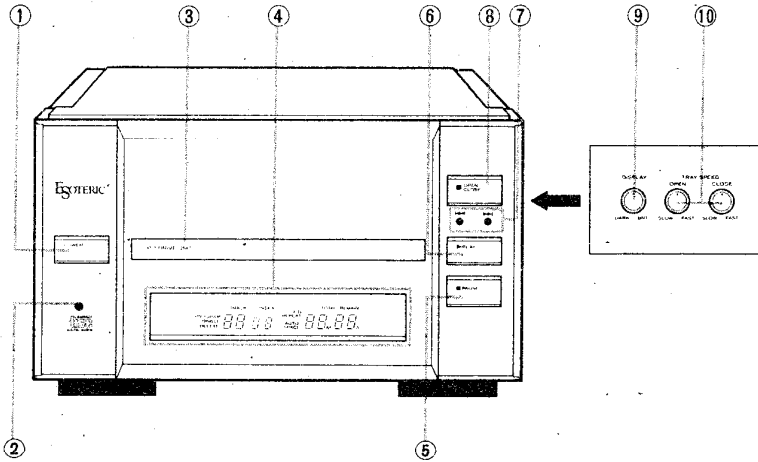
接続する機器の取扱説明書をよくお読みのうえ接続してください。



※[INPUT]端子の「4」は、“準出力”を持つ機器との接続に使用します。

# 各部の名称と説明

## P-1: CDドライブ・ユニット



### ①電源スイッチ(POWER)

押してON[ ]にすると電源が入り、もう一度押してOFF[ ]にすると電源が切れます。

\*ディスクが入っている場合は、自動的に演奏が始まります。

### ②パワー & ディスク・インジケータ

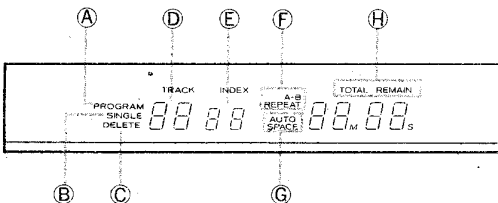
[POWER] スイッチを押して電源が入ると「緑色」、さらにディスクが装着されると「橙色」に点灯します。

### ③ディスクテーブル

ディスクを装着するところです。[OPEN/CLOSE] キーを押すと前面に出て来ます。[OPEN/CLOSE] キー、[PLAY▶] キーまたは[PAUSE||] キー、テン・キーのいずれかを押すと、ディスクテーブルは収納されます。

### ④表示窓

本機の作動状態、または各種モードによって次の表示ができます。



### Ⓐ [PROGRAM]

プログラム・モードで点灯します。

### Ⓑ [SINGLE]

シングル・モードで点灯します。

### Ⓒ [DELETE]

デリート・プログラム・モードで点灯します。

### Ⓓ [TRACK]: トラック・ナンバー

ディスクを装着したとき、ディスクに入っている曲数を表示します。演奏またはプログラム中は曲の番号(曲番)を表示します。

### Ⓔ [INDEX]: インデックス

演奏中の曲のインデックス番号を表示します。

### Ⓕ [REPEAT]: リピート

● [REPEAT]: 全曲リピート・モード時に点灯します。

● [REPEAT A-B]: ブロック・リピート・モード時に点灯します。

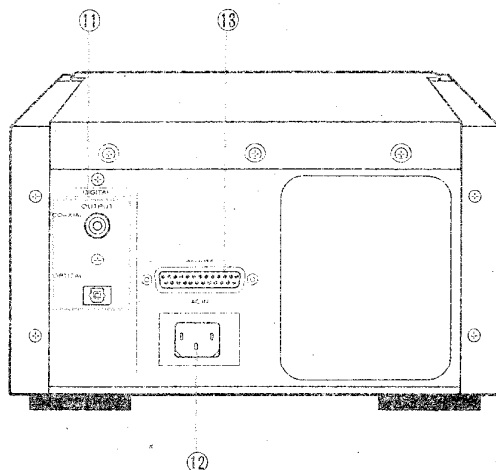
### Ⓖ [AUTO SPACE]: オート・スペース

オート・スペース・モードで点灯します。

### Ⓖ [REMAIN] / [TOTAL REMAIN]

リメイン / トータル・リメイン

タイムカウンターが残量時間表示モードのときは「REMAIN」が点灯し、総残量時間表示モードのときは「TOTAL REMAIN」が点灯します。



⑤一時停止キー〔PAUSE〕

演奏を一時停止するときに押します。再び演奏を始める場合は、〔PLAY▶〕キーを押します。  
 “■”インジケーターが一時停止中点灯します。

⑥プレイ・キー〔PLAY〕

演奏を始めるときに押します。また、プログラム演奏を開始する場合にも押します。  
 “▶”インジケーターが演奏中点灯します。

⑦トラック・キー〔◀▶〕

演奏中または一時停止中に押すと、押す度に曲の頭をサーチします。また、停止中に押すと、曲番の選択ができます。▶28ページ

●〔◀◀〕：1回押すと、今聞いている曲の頭に戻り、続けて押すと、前の曲へ戻ります。

●〔▶▶〕：1回押すと、次の曲の頭にとびます。続けて押すと、次の曲へと移ります。

⑧開閉ボタン〔OPEN/CLOSE〕

1度押すと、ディスクテーブルが出ます。もう1度押すと、ディスクテーブルが収納します。  
 開閉時、“■”インジケーターが点滅します。

⑨ディスプレイつまみ〔DISPLAY〕

表示窓の輝度を調整します。「DARK」は暗く、「BRT」は明るくなります。

⑩トレイ・スピードつまみ〔TRAY SPEED〕

ディスク・テーブルの開閉速度をそれぞれコントロールします。

⑪デジタル出力〔DIGITAL OUTPUT〕

本機のデジタル信号出力は、同軸コード用と光ファイバー・コード用の2系統を備えています。

●「COAXIAL」出力端子

同軸コード(RCA-RCA)用出力端子です。

●「OPTICAL」出力端子

光ファイバー・コード用出力端子です。

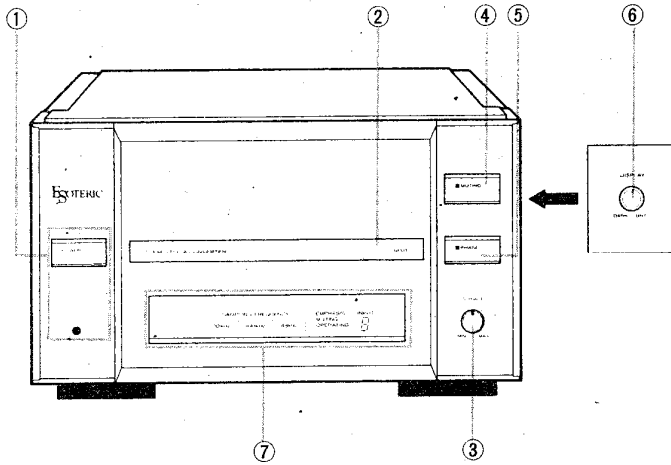
⑫電源入力〔AC IN〕

AC電源コード(付属)を接続します。

⑬リモート端子〔REMOTE〕

ジョグダイヤル付コントロールなど、今後のシステムアップ用に使用します。

## D-1: マルチD/Aコンバーター



### ①電源スイッチ[POWER]

押してON(●)にすると、下のLEDが「橙色」に点灯します。

### ②インプット切換スイッチ[INPUT]

[INPUT]部を押すと順次、4入力のINPUTが切り替ります。(COAXIAL:1~3, OPTICAL:4)

### ③出力レベル調整つまみ[OUTPUT]

[VARIABLE OUTPUT]端子の出力レベルを調整します。

### ④ミュートキー[MUTING]

一時的に出力音声が無くなり、LEDが点灯します。もう一度押すと解除されます。

### ⑤位相反転キー[PHASE]

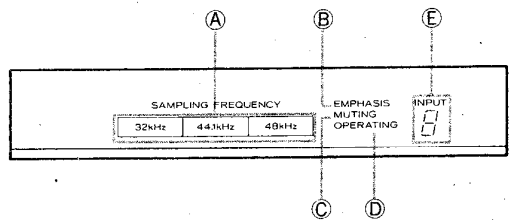
出力音声の位相を反転するときを使用します。キーを押すと動作をし、LEDが点灯します。もう一度押すと解除されます。

### ⑥ディスプレイつまみ[DISPLAY]

表示窓の輝度を調整します。

### ⑦表示窓

本機の動作状態、または各種モードによって次の表示が出来ます。



### ① サンプリング周波数

#### [SAMPLING FREQUENCY]

[INPUT]に入力されたデジタル信号のサンプリング周波数を自動的に読みとり点灯表示します。

- 32kHz: DBS (Direct Broadcast Satelliteの略)
- 44.1kHz: CD、録音済みDATソフトテープ
- 48kHz: DBS、DAT (録音再生)

### ② エンファシス[EMPHASIS]

エンファシス信号が記録されているディスクの再生時に点灯表示します。

### ③ ミュート[MUTING]

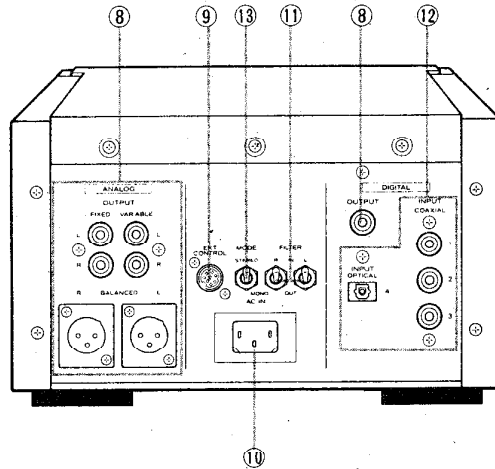
[INPUT]端子への入力信号がない場合に点灯表示します。

### ④ オペレーティング[OPERATING]

[INPUT]端子に入力されたデジタル信号が安定し、作動状態になると点灯表示します。

### ⑤ インプット[INPUT]

[INPUT]スイッチにより選択される入力端子の番号(1~4)を表示します。

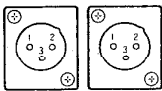


### ⑧出力[ANALOG/DIGITAL-OUTPUT]

本機の出力は、3系統のアナログ出力と1系統のデジタル出力を持っています。

#### ●アナログ出力端子[ANALOG OUTPUT]

- 1)「FIXED」：フロントパネルの〔OUTPUT〕つまみに連動しない固定出力端子。
- 2)「VARIABLE」：フロントパネルの〔OUTPUT〕つまみにより、出力調整が出来る可変出力端子。
- 3)「BALANCED」：XLRタイプ・コネクター(キヤノン仕様)のバランス型出力端子。



1. シールド(G)
2. コールド(-)
3. ホット(+)

※このコネクターはトランス型バランス回路を使用しています。また1、2ショート接続によりアンバランス接続もできます。

#### ●デジタル出力端子[DIGITAL OUTPUT]

デジタルアンプなどの〔DIGITAL INPUT〕端子に接続します。

### ⑨外部コントロール・コネクター 〔EXT CONTROL〕

ジョグダイヤル付コントロールなど、今後のシステムアップ用に使用します。

### ⑩電源入力[AC IN]

AC電源コード(付属)を接続します。

### ⑪フィルター切換スイッチ[FILTER]

サンプリング信号をカットするアナログ・フィルター回路切換スイッチです。通常は「IN」でご使用ください。なおご使用のアンプ/スピーカーシステムに十分に大きな許容入出力がある場合は「OUT」で使用すると、本機の性能を一段と高める場合があります。

※許容入出力が小さいアンプ/スピーカーでは、サンプリング信号の漏れによりシステムを破損する場合がありますので(特にコンデンサー・スピーカーやリボン・スピーカーをご使用の場合)ご注意ください。

### ⑫デジタル入力端子[DIGITAL INPUT]

本機のデジタル入力は、コアキシャルとオプチカルの2系統を持っています。

#### ●「COAXIAL」(1~3)

P-1またはDATなどのデジタル出力を同軸コード(RCA-RCA)によって接続します。

#### ●「OPTICAL」(4)

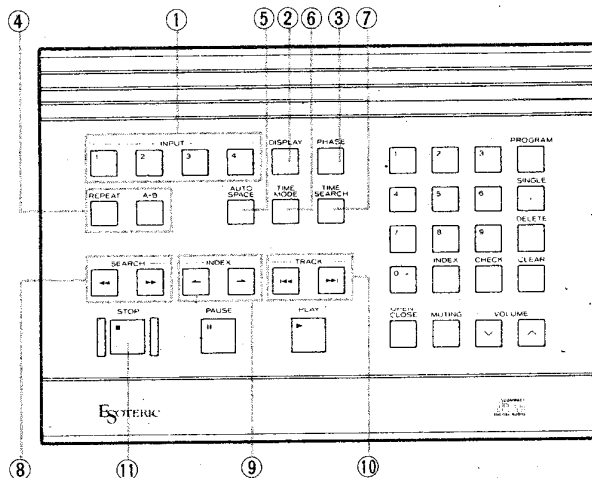
P-1またはDATなどのデジタル出力を光ファイバー・コードによって接続します。

### ⑬モード切換スイッチ[MODE]

出力モードをステレオ/モノラルに切換えます。

## ■RC-P1:リモート・コントロール・ユニット(リモコン)

(P-1またはD-1の表示窓に向けて操作してください)



### ① インプット切替キー〔INPUT〕

D-1の入力切換を行なうときに使用します。D-1の表示窓に“1~4”の数字で表示されます。  
(COAXIAL:1~3, OPTICAL:4)

### ② ディスプレイ・キー〔DISPLAY〕

表示窓の表示を消すときに使用します。押すと消え、もう一度押すと表示に戻ります。

### ③ フェイズ・キー〔PHASE〕

D-1から出力する音声の位相を反転するときに使用します。キーを押すと動作し、もう1度押すと解除します。

### ④ リピート・キー〔REPEAT〕

リピート演奏を行うときに使用します。  
〔A-B〕キーは、ブロックリピート演奏時に使用します。■24、25ページ

### ⑤ オート・スペース・キー〔AUTO SPACE〕

押すとP-1の表示窓に“AUTO SPACE”が点灯し、演奏時の曲間が約4秒になります。もう1度押すか、〔STOP■〕キーを押すと解除されます。■29ページ

### ⑥ タイム・モード・キー〔TIME MODE〕

P-1表示窓のタイム・カウンターのモードを切り換えることができます。■29ページ

### ⑦ タイム・サーチ・キー〔TIME SEARCH〕

演奏時間に対応したサーチを行うことができます。  
■26ページ

### ⑧ サーチ・キー〔SEARCH〕

演奏中または一時停止中に押すと、指を離すまでの間が早送り/早戻しとなります。〔◀◀〕キーを押すと早戻し、〔▶▶〕キーを押すと早送りになります。■27ページ

### ⑨ インデックス・キー〔INDEX〕

インデックスが記録されているディスクでは、インデックスからの演奏ができます。■26ページ

### ⑩トラック・キー〔TRACK〕

演奏中または一時停止中に押すと、押す度に曲の頭をサーチします。また、停止中に押すと、曲番の選択ができます。■28ページ

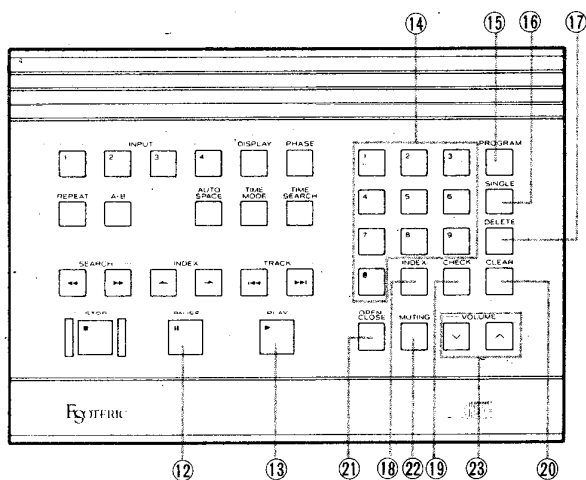
●〔I◀◀〕:1回押すと、今聞いている曲の頭に戻り、続けて押すと、前の曲へ戻ります。

●〔▶▶I〕:1回押すと、次の曲の頭にとびます。続けて押すと、次の曲へと移ります。

### ⑪ 停止キー〔STOP〕

押すと演奏を停止し、P-1の表示窓は“TRACK 0”表示となります。





#### ⑫一時停止キー〔PAUSE II〕

演奏を一時的に止めるときに押します。再び演奏を始める場合は、〔PLAY▶〕キーを押します。

#### ⑬プレイ・キー〔PLAY▶〕

演奏を始めるときに押します。また、プログラム演奏を開始する場合にも押します。

#### ⑭テン・キー

⑩～⑨までの各キーは、曲番の指定や、インデックスを設定するときに使用します。

#### ⑮プログラム・キー〔PROGRAM〕

押してプログラム・モード (P-1に“PROGRAM”点灯)にすると、プログラム演奏が可能となります。

■22ページ

#### ⑯シングル・キー〔SINGLE〕

1曲だけの演奏を行なうときに使用します。

■27ページ

#### ⑰デリート・キー〔DELETE〕

押してデリート・プログラム・モード (P-1に“DELETE”点灯)にすると、聞きたくない曲だけをとばした演奏が可能となります。■23ページ

#### ⑱インデックス・キー〔INDEX〕

テン・キーでインデックス番号を設定することができます。■26ページ

#### ⑲チェック・キー〔CHECK〕

プログラムされている曲のチェックができます。

■22ページ

#### ⑳クリアー・キー〔CLEAR〕

プログラムされている曲の削除に使用します。

#### ㉑開閉ボタン〔OPEN/CLOSE〕

1度押しと、ディスクテーブルが出ます。もう1度押しと、ディスクテーブルが収納します。

#### ㉒ミュートィング・キー〔MUTING〕

一時的に出力音声なくなり、D-1本体(ボタン内)のLEDが点灯します。もう1度押しと解除されます。※〔MUTING〕のLEDが点灯中は、〔VOLUME〕の調整は行なわないで下さい。

#### ㉓ボリューム・キー〔VOLUME〕

D-1の出力音声を無段階に調整します。

「^」は音量が大きくなり、「v」は小さくなります。(D-1の「VARIABLE」端子)

# 演奏(基本操作)

〔P-1に付属(D-1は別売)のリモコンは、本機  
の操作に必要なすべて(電源を除く)を備えていま  
すので、ここからの説明は、リモコンを使用し  
た場合とします。なお、本体側の操作ボタンで  
も、リモコンの同キーと同様の操作ができます。〕

## 準備

### 〈P-1〉

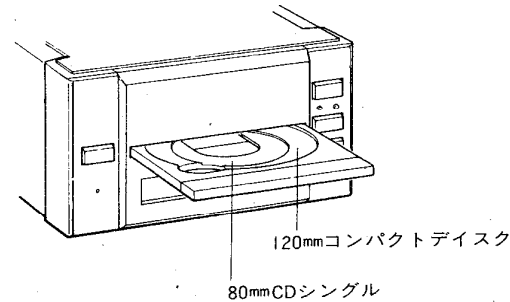
- 〔POWER〕スイッチを押して電源をONにする。

### 〈D-1〉

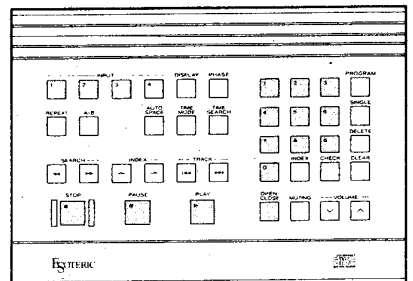
- 〔POWER〕スイッチを押して電源をONにする。
- 本体またはリモコンの〔INPUT〕を押して、P-1が接続されている入力端子(1~4)を選択する。
- 本体の〔OUTPUT〕つまみを調節する。  
(「VARIABLE」端子使用の場合)

### 〈ステレオ・アンプ〉

- ステレオ・アンプの電源をONにし、セレクターを「CD」などにセットする。



1. 〔OPEN/CLOSE〕キーを押す。  
\*ディスクテーブルが手前に出ます。  
ディスクテーブルは電源が入っていないと開閉できません。
2. ディスクは、レーベルを上にしてディスクテーブルに乗せる。  
\*ディスクを中央部のガイドに正しく入れてください。
3. 〔OPEN/CLOSE〕キーを押す。  
\*ディスクテーブルが閉じ、P-1の表示窓に「曲数」および「総演奏時間」が表示され続けます。  
\*ディスクが中央部のガイドに正しくセットされていない場合は、ディスクテーブルは閉じずに再び開くことがあります。
4. 〔PLAY▶〕ボタンを押す。  
\*本体〔PLAY〕ボタン内のLEDが点灯し、ディスクの1曲目から演奏を始めます。
5. ステレオ・アンプの〔OUTPUT〕ボリュームを調整する。
6. 演奏を止める場合は、〔STOP■〕キーを押す。



## ■ディスクテーブルを 開いたままでも……

[PLAY▶]キーを押すと……

ディスクテーブルが自動的に閉まり、ディスクの最初の曲から演奏を始めます。

テン・キーを押すと……

ディスクテーブルが自動的に閉まり、テン・キーで指定された曲から演奏を始めます。

[PAUSE■]キーを押すと……

ディスクテーブルが自動的に閉まり、ディスクの最初の曲で一時停止になります。

## ■ダイレクト選曲

希望する曲番と同じ数を“テン・キー”で押すと、[PLAY▶]キーを押すことなく、指定の曲から演奏を始めることができます。

例1：曲番5から演奏する場合……

0 → 5 の順にキーを押す。

例2：曲番12から演奏する場合……

1 → 2 の順にキーを押す。

## ■演奏の中止

ディスクを取り出す場合……

[OPEN/CLOSE]キーを押す。

演奏が止まり、ディスクテーブルが手前に出てきます。

一時停止する場合……

[PAUSE■]キーを押す。

演奏が一時停止します。再び演奏を始める場合は、

[PLAY▶]キーを押す。

演奏を止める場合……

[STOP■]キーを押す。

# プログラム演奏

1枚のディスクから好みの曲を、演奏させたい順にメモリーすると、指定した曲だけのプログラム演奏を行うことができます。

## ■プログラムのセット

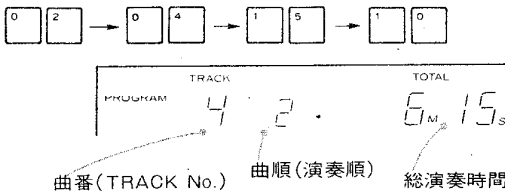
例：2→4→15→10の順に演奏を行うには

停止中(ストップ・モード)に行う場合

1. [PROGRAM]キーを押す。



2. テン・キーを押す。



\* 指定の曲をメモリーする度に、曲番・曲順および総演奏時間が表示されます。

演奏中(プレイ・モード)に行う場合

3. 操作方法については“停止中……”と同様です。

なお、[PROGRAM]キーが押されたときに演奏中の曲は、自動的に曲番1としてメモリーされます。

\* 総演奏時間は表示されません。

4. プログラム演奏を開始する場合は、[PLAY▶]キーを押す。

\* 曲番1から順に演奏を行い、最後の曲を終了すると自動停止します。

●メモリーは最大40曲まで可能です。

●演奏を終了しても、曲はメモリーされています。

●プログラム演奏後に[STOP■]キーを押して演奏を止めても、曲はメモリーされています。さらに[STOP■]キーを押すと、“PROGRAM”表示が消え、曲もメモリーから消滅します。

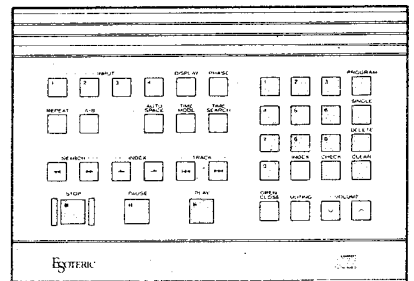
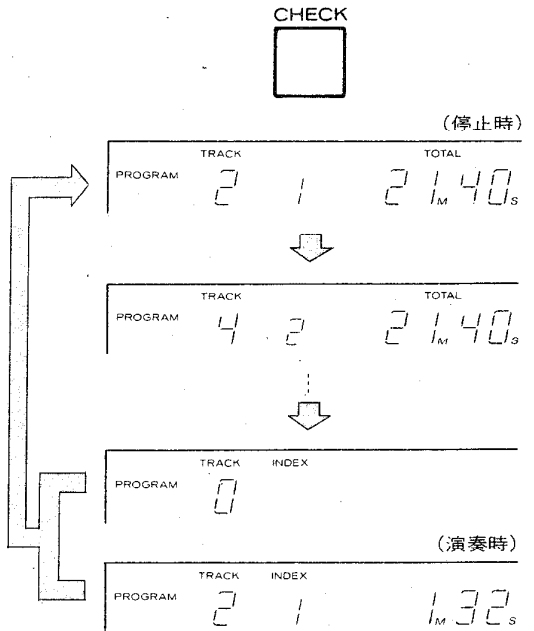
●[PROGRAM]キーをもう一度押す、またはプログラム演奏を始める前に[STOP■]キーを押すと、メモリーされている曲は消滅します。

●プログラム入力中に[SINGLE]キー、[DELETE]キーを押すといままでプログラムされた全ての曲は消滅します。

## ■プログラム内容のチェック

“プログラムのセット”またはプログラム演奏中に[CHECK]キーを押します。

[CHECK]キーが押されるたびに、表示窓にプログラムの曲番・曲順および総演奏時間(停止時)を順次表示します。



## ■プログラムの修正(追加/削除)

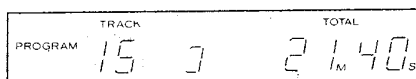
### ■追加

プログラムにさらに曲を追加する場合は、プログラム演奏前または演奏中でも、追加したい曲番のテン・キーを押すだけで、プログラムの最後に曲を追加して行くことができます。

### ■削除

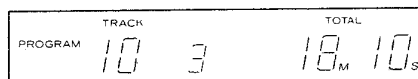
例：2→4→15→10とプログラムして、15を消す場合……

1. [CHECK] キーを押して、表示窓に曲番15 (TRACK NO)を表示させる。



2. [CLEAR] キーを押す。

\* "15"が削除され、次の曲順が繰り上って表示されます。



3. 他にも削除したい曲がある場合は、1と2の操作を繰り返します。

## ■デリート・プログラム演奏

1枚のディスクのうち“演奏したくない曲”をあらかじめ選んでおくと、指定された曲を除いて演奏を行います。つまり、通常のプログラム演奏とは逆の操作になるわけです。

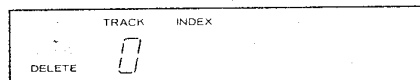
1. [DELETE]キーを押す。

DELETE

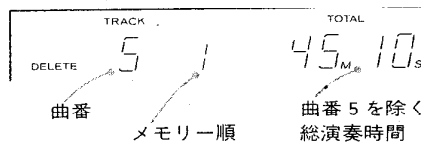


(表示窓に“DELETE”点灯)

(停止時)



2. プログラム演奏と同様、ここでは削除したい曲番のテン・キーを押す。



さらに曲を指定する場合は、テン・キーを繰り返し押しします。

以上、削除した曲の内容は、通常のプログラムの場合と同じ手順でチェックおよび修正を行うことができます。

3. [PLAY▶]キーを押すと、メモリーした曲を除いて演奏を行います。

\*演奏中でも同様の操作を行うことができます。

# リピート演奏

ディスクの1曲/全曲/任意のA・B間、の各リピート演奏ができます。

## ■ディスクの1曲を繰り返すには…

<1曲リピート演奏>

1. [SINGLE]キーを押す。

SINGLE



(表示窓に“SINGLE”点灯)

2. [REPEAT]キーを押す。

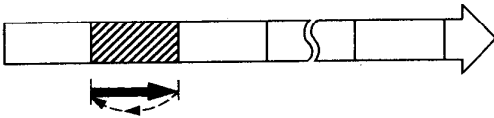
REPEAT



(表示窓に“REPEAT”点灯)

3. 希望の曲番のテン・キーを押す。

\* 指定曲の演奏が自動的に始まり、1曲の演奏が終わると再び演奏を繰り返します。



## ■ディスクの全曲を繰り返すには…

<オール・リピート演奏>

1. [REPEAT]キーを押す。

REPEAT

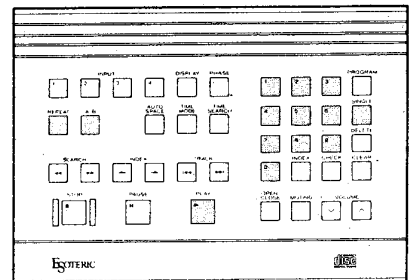


(表示窓に“REPEAT”点灯)

2. [PLAY▶]キーを押す。

\* ディスクの1曲目から演奏が始まり、最後まで演奏を行うと、最初の曲に戻って再び演奏を続けます。

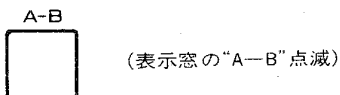
\* 演奏を開始後に [REPEAT] キーを押しても、同様に働きます。



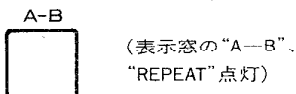
## 指定した区間を繰り返すには…

### ＜ブロック・リピート演奏＞

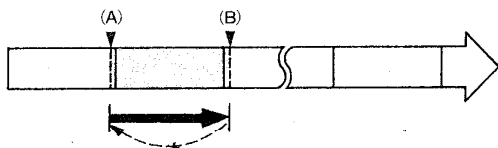
1. テン・キーまたは[PLAY▶]キーを押して演奏を始める。
2. 繰り返しを行いたい位置(A)で、[A-B]キーを押す。



3. 演奏をそのまま続けるか [SEARCH] キーを押すなどして、繰り返しを終わらせたい位置(B)を見つけ再び[A-B]キーを押す。



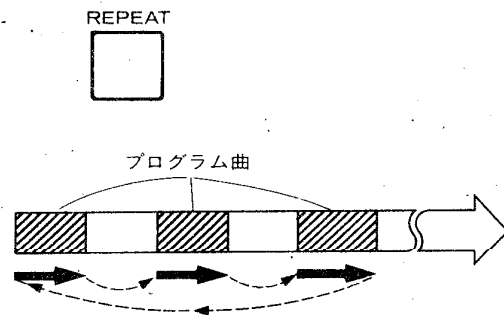
4. 最初の(A)に戻り、A-B間の演奏を繰り返します。



- \* シングル・モードになっている場合は、2つ以上の曲に渡るブロック・リピートはできません。
- \* ブロック・リピート・モード時に[A-B]キーをもう一度押すと、ブロック・リピート・モードが解除されます。

## プログラム・リピート演奏

プログラム演奏時(前項参照)に[REPEAT]キーを押しておく、プログラム演奏が繰り返し行なわれます。



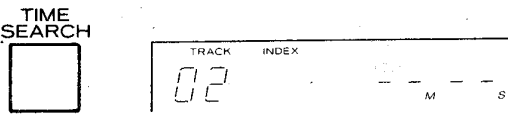
# 便利な機構とその使い方

## ■タイム・サーチ

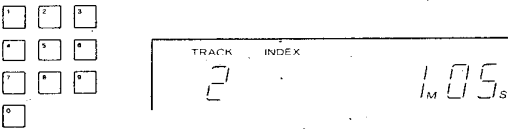
現在演奏中の曲を“2章節目”から再び演奏を行うなど、演奏時間に対応させたサーチを行うことができます。

例：現在演奏中の曲(2)の“1分5秒”をサーチする場合。

1. 曲番2を演奏中に〔TIME SEARCH〕キーを押す。

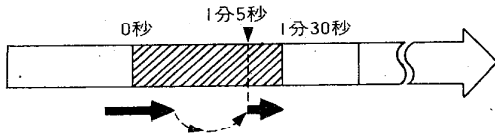


2. テンキーを〔0〕・〔1〕・〔0〕・〔5〕の順に押す。



\*表示させない時刻は〔0〕を押す。

3. “時刻”がセットされると直ちに指定時刻位置へサーチが行なわれ、指定の演奏時刻から再び演奏を始めます。



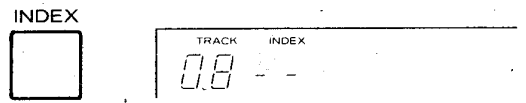
- 指定する曲の演奏時間を越える時刻のセットは出来ません。(例では、1分31秒以上)
- 〔TIME SEARCH〕キーを押した後に演奏が次の曲へ進んだ場合でも、サーチされる曲は前の曲となります。(TRACKに表示の曲)

## ■インデックス・サーチ

本機はインデックス・サーチ機能を備えていますので、インデックスが記録されているディスクでは、希望のインデックスから演奏を始めることができます。

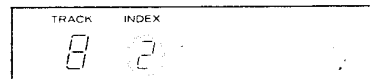
〔INDEX〕キーまたは〔INDEX-←/→〕キーのいずれでも操作できます。

1. テン・キーを押してインデックス・サーチしたい曲を演奏する。
2. 〔INDEX〕キーを押す。

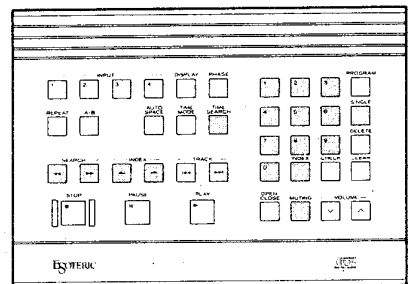


3. テン・キーを押してインデックス番号を設定する。

\*例えばインデック番号2は、〔0〕・〔2〕を押す。





4. 指定のインデックス番号へサーチが行なわれ、演奏を続けます。





※[INDEX-◀/▶]キーでの操作は、表示されているインデックス番号を増/減してセットすることができます。

 : インデックス番号増加 (1→2→3→)

 : インデックス番号減少 (4→3→2→)




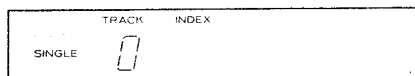
\*インデックス番号以上の「数」をセットした場合は、その曲の最後のインデックスから演奏を行います。

## ●シングル演奏

指定した曲(1曲)の演奏を1回行なって停止します。

1. [SINGLE]キーを押す。

SINGLE  
 (表示窓に“SINGLE”点灯)



2. 指定する曲番のテン・キーを押す。

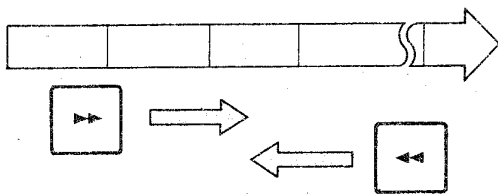
\*指定した曲の演奏が始まり、終了すると演奏が止まります。

## ●ミュート(D-1)

ディスクを演奏中に電話がかかってきた場合など、D-1の再生出力を一時的に止めることができます。[MUTING]キーを押すと働き、もう一度押すと通常の再生出力に戻ります。

## ●早送り/早戻し

演奏中または一時停止中に[SEARCH]キーを押すと、押している間が早送り/早戻しになります。「▶▶」キーを押すと早送り、「◀◀」キーは早戻しになります。動作中は再生音が小音量で聞こえますので、再生音または表示窓の時間表示を確認しながら希望の位置が探し出せます。キーから指を離すと通常の再生に復帰します。



- 演奏中に早送りでディスクまたはプログラムの最後まで来ると、その位置で一時停止になります。また、早戻しでディスクまたはプログラムのスタート位置まで戻ると、そこから再び演奏を始めます。
- プログラム演奏中は、メモリーされている曲をサーチします。

## ■トラック・サーチ

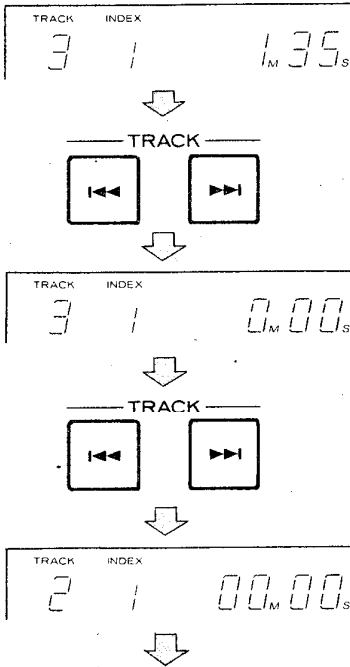
[TRACK] キーを押すと、押す回数によって曲番 (TRACK No.) が設定できます。

停止中または一時停止中に押した場合は、曲番設定後に [PLAY] キーを押すと指定曲から演奏が始まります。

演奏中に押すと次のように働きます。

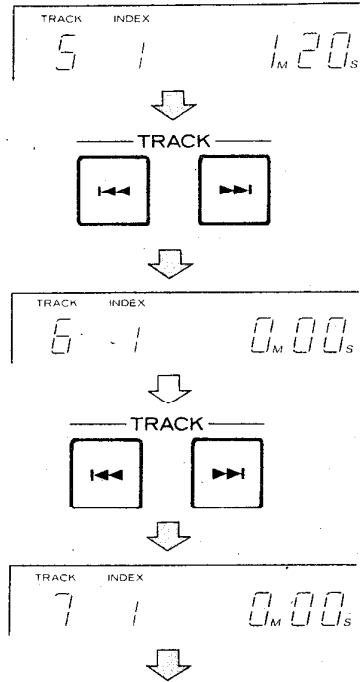
### 前の曲に戻る

演奏中に「|<<」キーを押すとその曲の頭に戻り、さらに押す度に前の曲、前の曲へと戻ります。

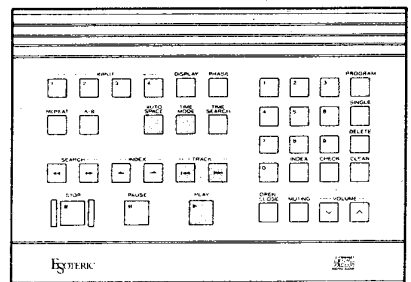


### 後の曲へスキップ

演奏中に「||>>」キーを押すと、その度に次の曲へ移り、曲の頭から演奏を続けます。

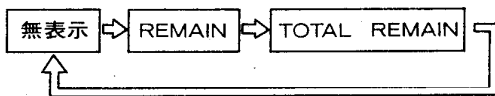


- プログラム演奏時は、メモリーされている曲のみサーチをします。



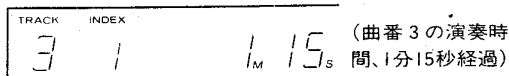
## ■タイム・カウンター

P-1表示部のカウンター・モードは、[TIME MODE] キーを押すことによって各種タイム・カウンターとして利用することができます。



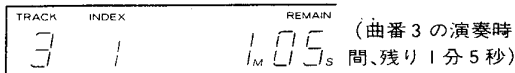
### ■通常のカウンター(無表示：経過時間)

[TIME MODE] キーを押してカウンター上部の表示を消すと、各曲ごとの経過時間を表示するカウンターとなります。



### ■リメイン・カウンター(REMAIN：残量時間)

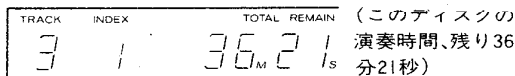
[TIME MODE] キーを押してカウンター部に“REMAIN”を点灯させると、各曲ごとの残り時間を表示します。



## ■トータル・リメイン・カウンター

(TOTAL REMAIN：総残量時間)

[TIME MODE] キーをさらに押すと“TOTAL REMAIN”が点灯し、演奏を終了するまでの総演奏時間を表示します。



\*リピート演奏時は“----”表示となってカウントしません。

- 各カウンター・モードは、電源を切ったときのモードが再び、電源を入れたときも呼び出されます。
- ディスクを装着した時、または停止中にプログラム演奏のメモリーおよびチェックを行った場合、自動的に“TOTAL”が点灯して総演奏時間を表示します。

## ■オート・スペース

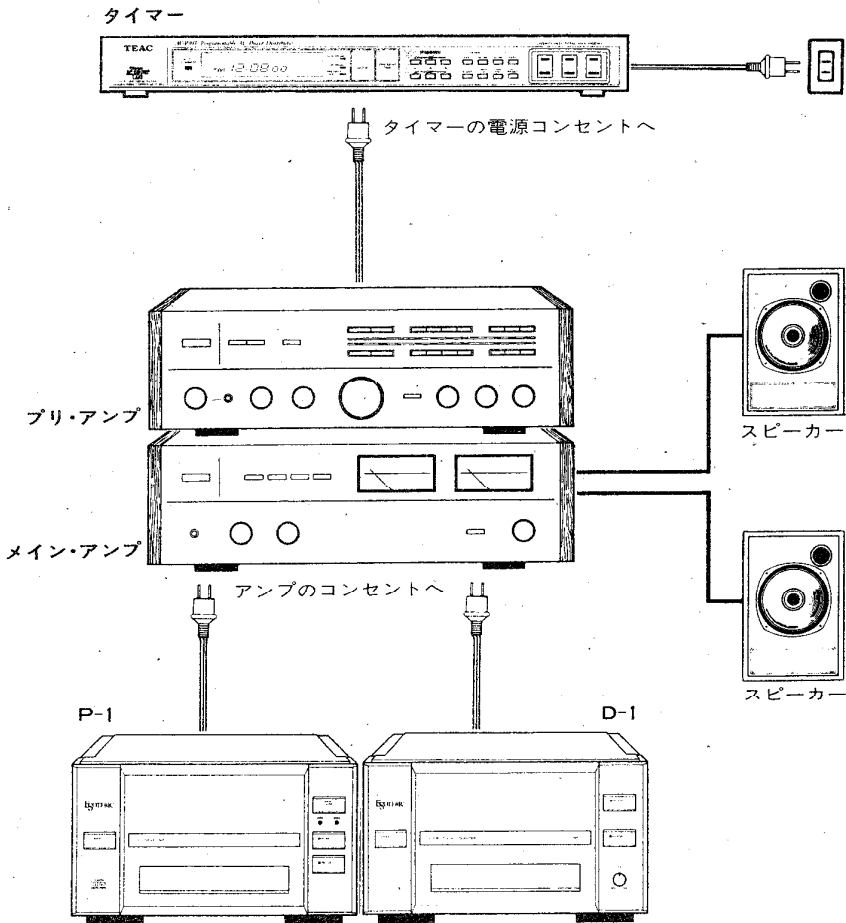
[AUTO SPACE] キーは、演奏時の曲間を一定(約4秒)にして演奏を行います。

[AUTO SPACE] キーを押すと表示窓に“AUTO SPACE”が点灯してONとなり、もう一度押すとOFFになります。

# タイマー演奏

さわやかな音楽で目を覚ましたい……。

別売のタイマーを組み合わせて、希望の時刻から演奏を始めることができます。



1. 電源コードを図のように接続する。

\*信号ケーブルの接続は、11ページ等を参照してください。

2. タイマーをON状態にし、各機器の電源スイッチもON。

\*各機器へ電源が入ります。

3. ディスクを入れる。

4. ステレオ・アンプの“入力切換スイッチ”を、本機を接続した端子に合わせて切り換える。

音量調整もしてください。

5. タイマーを希望の時刻にセット。(各機器への電源が切れます。)

6. 指定した時刻になると、ディスクの1曲目から演奏を開始します。

また、プログラム演奏がメモリーされていた場合は、そのままプログラム演奏されます。

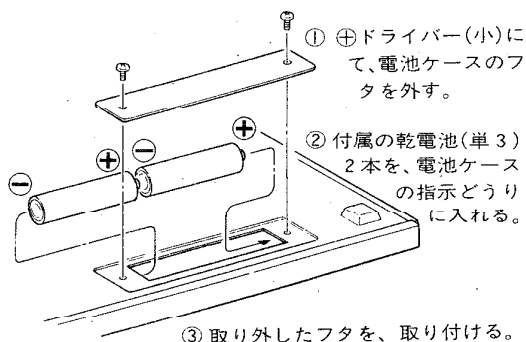
●タイマー演奏が終わったら、ディスクを取り出しておいてください。

## リモート・コントロール・ユニット(リモコン)について

本機(P-1)に付属のリモコンは、P-1またはD-1を操作するための“キー”すべてを備えています。電源のON/OFFを除き、本体から離れた所からでも、すべての操作をすることができます。

### ■電池について

#### リモコンへの装着



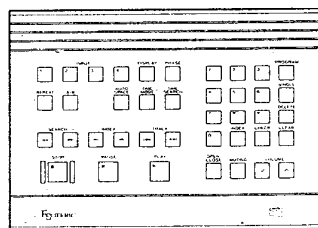
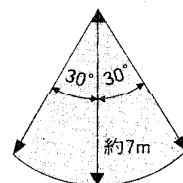
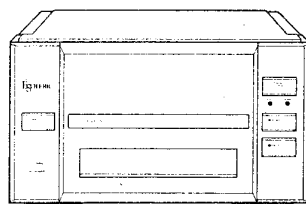
#### 電池の交換時期は……

リモコンでの操作可能範囲が狭くなったり、リモコンの操作キーを押しても本機が動かない場合は、電池が消耗しています。新しい電池に2本とも交換してください。

#### 電池についてのご注意

乾電池を誤って使用すると、液漏れや破裂などの危険があります。

1. 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースの指示どおりに正しく入れてください。
2. 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
4. 電池には充電式と充電式でないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。



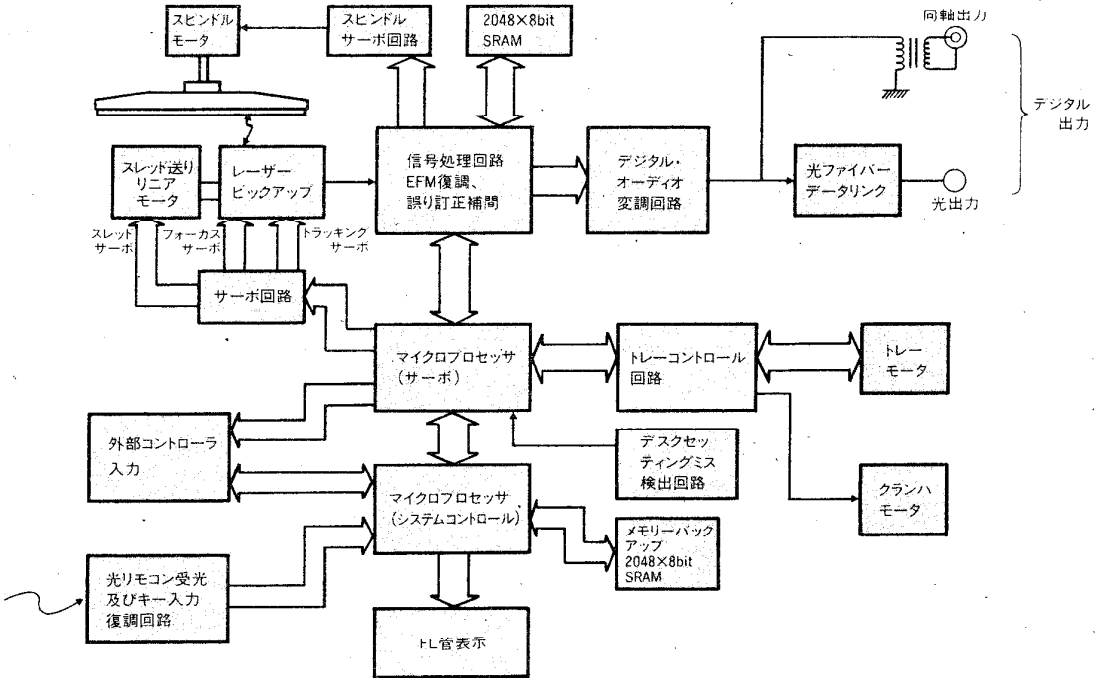
### ■使用上のご注意

- P-1またはD-1との間に障害物があったり、操作時の角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線を発射する機器の近くでCDプレーヤーを使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、CDプレーヤーは誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時に本機のリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。
- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しない時は、電池の液もれを防ぐために電池を取出してください。もし液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭取ってから新しい電池を入れてください。

# ブロック・ダイアグラム

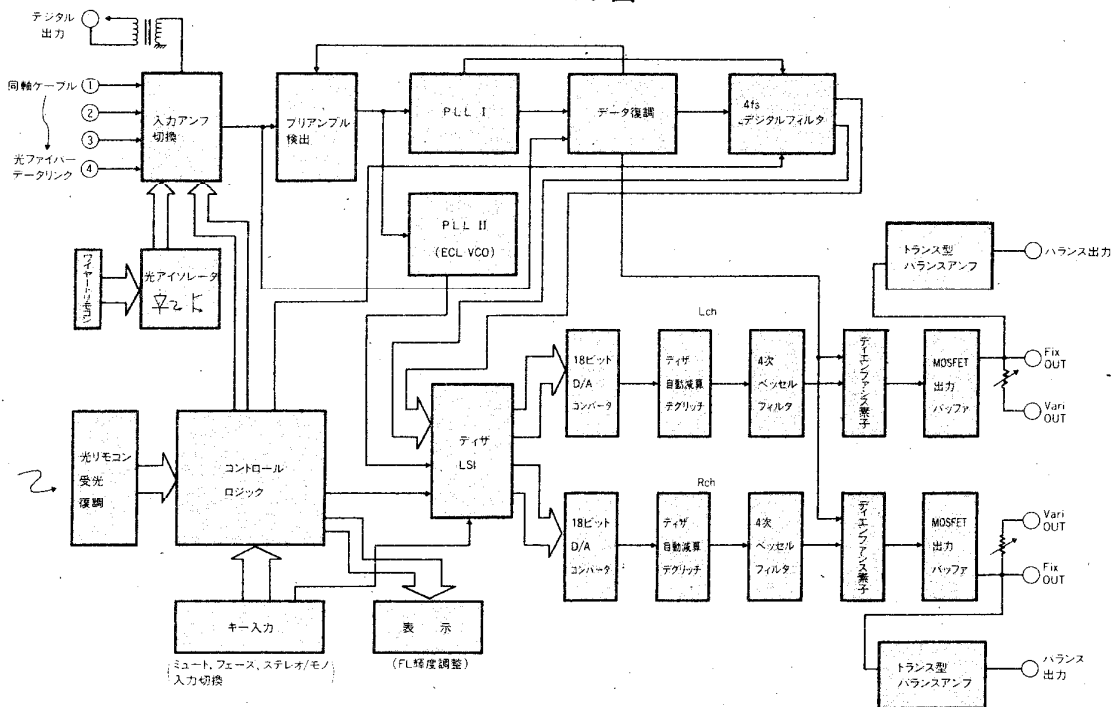
## P-1 CDドライブユニット

P-1 ブロック図



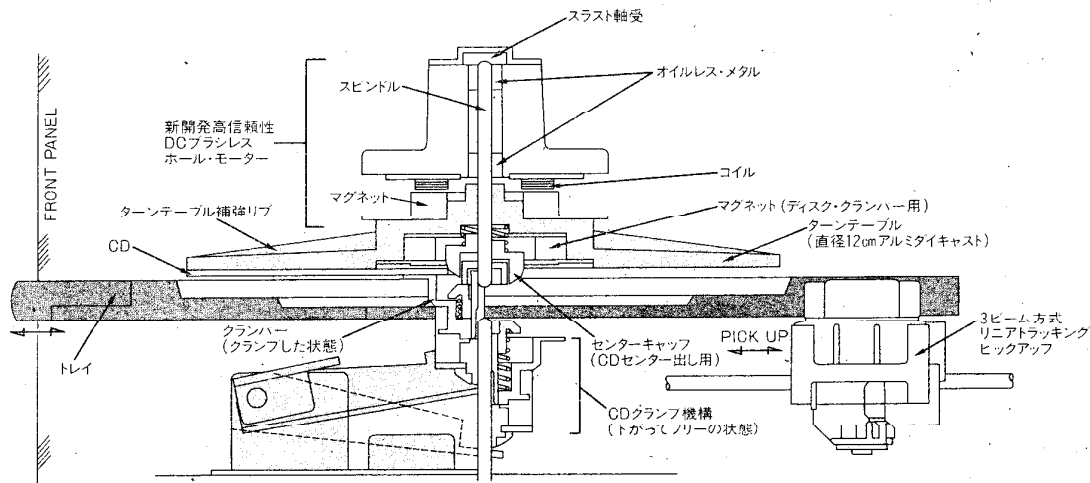
# D-1 マルチD/Aコンバーター

D-1 ブロック図



# 解説

## ESOTERIC P-1 ドライブ機構略図 (大径圧着式テーパー・ターンテーブル)



### P-1独自の高品位メカニズム。ディスクのソリを矯正する大径圧着式 テーパー・ターンテーブル採用のV.R.D.S.(Vibration-Free Rigid Disc-Clamping System)機構

きわめて安定したスタビライザー効果をもたらす。新開発の大径圧着式テーパー・ターンテーブル採用のV.R.D.S.機構。ディスクと同径で、しかも微小な角度をもつターンテーブルに、高精度に調整されたクランパーがディスク本体を圧着し、ソリや歪みを矯正。そしてターンテーブルと同角度に微調整されたピックアップにより、常にピックアップ光軸の中心で微細なビットを正確に読みとると同時に、ディスクの不要な振動を極少にすることを可能にした全く新しいディスク・クランピング・システムです。すなわちビットをきわめて正確に読みとることで、エラー補正量、サーボ量を大幅に低減。その結果、電気的にはサーボ電流の変動や読みとりエラーを激減させ、機械的にはサーボ時のレンズ振動に起因するノイズの発生や駆動部全体の振動等により発生するノイズを極少

と、音質を飛躍的に向上させることに成功しています。また、従来のCDプレーヤーでは、ピックアップ部とモーターを含めたターンテーブル部が近接せざるを得ない構造であったため、強度や剛性の点で十分であるとは言えませんでした。P-1ではディスク・ドライブ・モーターをアルミダイキャスト・シャーシ上部に固定。ピックアップ部と完全に分離させることでモーター軸受、ピックアップベースの剛性、強度を飛躍的に高めることに成功しました。さらに支持機構を含むターンテーブル駆動部には高剛性アルミダイキャストを使用。耐久性、回転安定性ともに高い信頼性の新開発ブラシレス・ホール・モーターと相まって、振動に影響されず耐振・耐共振性を飛躍的に高めた高精度メカニズムを実現しました。



## アフターサービスについて

1. この製品には“御愛用者カード”が添付されております。カードは、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、必要事項を記入の上、なるべく早くご返送下さいますようお願い致します。
2. 保証期間はご購入日より1年です。保証期間中は、保証書の記載内容により、当社サービス期間が修理いたします。  
その他詳細につきましては保証書をご参照ください。
3. 保証期間経過後、または保証書を掲示されない場合の修理などについてご不明の場合は、ご購入の販売店、もよりの当社営業所、サービス・センター、またはサービス1課にご相談ください。  
保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。  
なお、営業所などの所在地および電話番号は、住所欄に記載してあります。
4. この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

## アフターサービスのご依頼について

万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認し、ご購入のお店または裏表紙の住所欄に記載の各営業所などにご連絡ください。

1. 型名、型番
2. 故障の内容
3. お買い上げ年月日「○年○月○日」
4. お名前、住所、電話番号

# 仕様

## P-1 CDドライブユニット

### <ピックアップ>

方式	対物レンズ駆動、光学式3ビーム
対物レンズ駆動方式	2次元平行駆動
光源	半導体レーザー
波長	780nm
<ピックアップ駆動方式>	リアモーター駆動

### <信号フォーマット>

標準化周波数	44.1kHz
量子化ビット数	16ビットリニア/チャンネル
伝送レート	4.3218Mb/sec
変調方式	EFM
エラー訂正方式	CIRC

### <ディスク>

方式	コンパクトディスク
演奏時間	約60分/約20分
ディスク直径	120mm/80mm
ディスク厚	1.2mm
線速度	1.2~1.4m/sec
トラックピッチ	1.6μm

### <オーディオ>

出力(デジタル)	0.5Vp-p/75Ω (COAXIAL) OPTICAL×1
----------	------------------------------------

### <一般>

電源	100V AC 50/60Hz
消費電力	11W
外形寸法(W×H×D)	225×134×490mm
重量	12.8kg

### <リモコン RC-PI>

リモコン方式	赤外線パルス方式
電池	DC. 3V 乾電池SUM-3型 2個使用
外形寸法(W×H×D)	212×37×150mm
重量	675g(電池含む)

## D-1 マルチD/Aコンバーター

### <オーディオ>

オーディオチャンネル数	2チャンネル
周波数特性	0~15,000Hz ±0.5dB(32kHz) 0~20,000Hz ±0.5dB(44.1kHz) 0~22,000Hz ±0.5dB(48.0kHz)
SN比	100dB以上(1kHz)
ダイナミックレンジ	97dB以上(1kHz)
高調波歪率	0.0015%以下(1kHz)
チャンネルセパレーション	100dB以上(1kHz)
出力	●アナログ 2 Vrms(FIXED) 0~2 Vrms(VARIABLE) 3 Vrms/600Ω (BALANCED) ●デジタル 0.5Vp-p/75Ω (COAXIAL) 0.5Vp-p/75Ω (COAXIAL 1~3) OPTICAL×1
D/Aコンバーター	18ビット・ツイン D/Aコンバーター
フィルター	4倍オーバーサンプリング+デジタルフィルター+4次ベッセルフィルター

### <一般>

電源	100V AC 50/60Hz
消費電力	21W
外形寸法(W×H×D)	225×134×485mm
重量	10.9kg

### <付属品>

#### P-1


- リモコン(RC-PI)
- 乾電池(単3 SUM-3)×2
- 同軸コード(バン・デン・ハル社 デジタル・コード VDH-T208)
- 取扱説明書(バインダー含む)

#### D-1

- 取扱説明書

\*仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

\*製品の改善により、取扱説明書の写真などが一部製品と異なることがあります。あらかじめご了承ください。

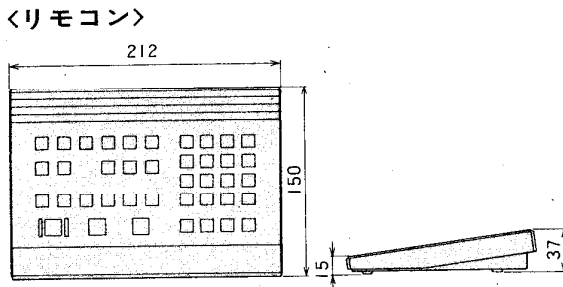
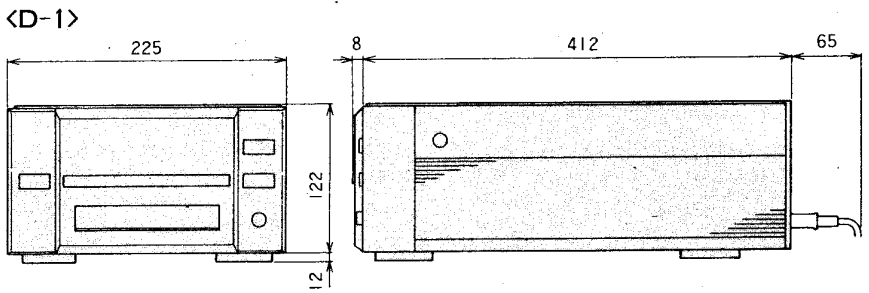
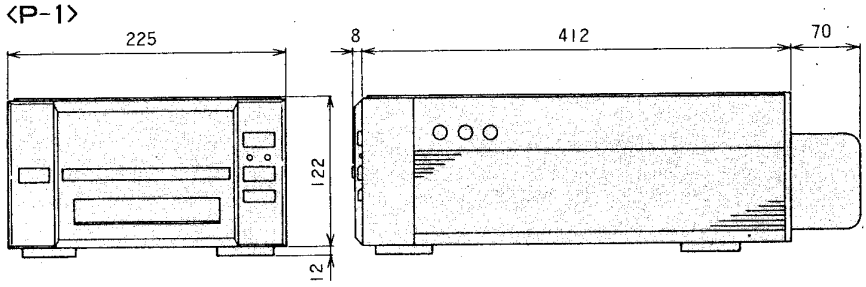

 これは電子機械工業会「音  
のエチケット」キャンペーン  
のシンボルマークです。

**音楽を楽しむ  
エチケット**

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるもの  
です。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな  
夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁  
などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけて  
しまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を  
閉めたりヘッドホンを使用するのも一つの方法です。  
音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適  
な生活環境を守りましょう。

# 寸法図

単位：mm



# ティアック株式会社

営業部 181

東京都三鷹市下連雀4-15-30

電話 (0422)45-7731代

カタログの請求、製品およびサービスに関するお問い合わせは、最寄りの営業所等へご連絡ください。

札幌営業所	064	札幌市中央区南7条西2-2	くぼたビル	電話 (011)521-4101代
仙台営業所	980	仙台市1番町2-5-5	中央ビル	電話 (022)227-1501代
東京営業所	100	東京都千代田区永田町2-10-7	星ガ岡会館	電話 (03) 592-1831代
東三河出張所	181	東京都三鷹市下連雀4-15-30		電話 (0422)45-7721代
千葉出張所	280	千葉市松波1-11-3	石橋松波ビル	電話 (0472)55-1281代
横浜営業所	221	横浜市神奈川区沢渡1-1	高島台第一ビル	電話 (045)312-3270代
名古屋営業所	464	名古屋市中種区東山通り3-2-3		電話 (052)782-4581代
静岡出張所	420	静岡市中島大割2861-1		電話 (0542)81-6561代
大阪営業所	564	大阪府吹田市垂水町3-34-10		電話 (06) 384-5201代
京都出張所	600	京都市下京区大宮通四条下ル四条大宮町21	新三虎ビル	電話 (075)842-0751代
岡山出張所	700	岡山市新保1142-6		電話 (0862)25-8601代
広島営業所	733	広島市中区西川口町13-19		電話 (082)294-4751代
福岡営業所	812	福岡市博多区東光2-2-24		電話 (092)431-5781代
松本サービスセンター	350-01	塩尻市広丘吉田1007-7		電話 (0263)58-6849代
新潟サービスセンター	950	新潟市東明7-4-1		電話 (025)286-7640代
大宮サービスセンター	330	大宮市三橋2-846		電話 (0486)42-4551代
沖縄サービスセンター	900-01	沖縄県宜野湾市字嘉友名229		電話 (09889)2-2020代
サービス1課	180-12	東京都武蔵村山市伊奈平2-11-1		電話 (0425)60-8918代

技術的なお問い合わせ

A/V技術相談室 180-12

東京都武蔵村山市伊奈平2-11-1

電話 (0425)60-7761代